

### Ⅲ ヒアリング調査からみた経営概況（企業の声）

#### 【現在の景況感】

- 「現況が一過性でなく好況であるとの認識」（食料品製造）
- 「印刷業界の不透明感から好況とまでは言えないまでも、何年か前に比べると良くなっている。昨年より安定して仕事が入ってきている」（印刷業）
- 「中国向けの半導体が相変わらず好調で、食品機械も海外向けが好調である」（プラスチック製品）
- 「受注は維持できており景況感が良い」（金属製品）
- 「利益を出すのがなかなか難しく、今はただ忙しい」（電気機械器具）
- 「他企業でできなくなった仕事の依頼があるが、対応しきれずに断る仕事もある」（輸送用機械器具）
- 「受注状況からみて好況であるとみている」（一般機械器具）
- 「悪くはないが良くもない」（建設業）
- 「衣料品の売れ行きが良く、良い方向に向かっている。いいものを買おうという傾向が見える」（百貨店）
- 「良い方の普通。緩やかに持ち直している」（スーパー）
- 「不況とまでは言わないが、伸びていく感じでもない」（商店街）
- 「業界に仕事はある状態なので、業界は好況。しかし中小企業はその実感がない」（情報サービス）

#### 【売上・採算】

- 「受注増加で工場の稼働率が上がっており、採算性は上がっている」（食料品製造）
- 「超過勤務で残業代が増加しているが、大手からの受注増により採算性は良くなった」（印刷業）
- 「建機向けの部品を取り扱う企業では好調が続いている」（銑鉄鋳物）
- 「工場稼働が100%に近くなっており、経費増を吸収している」（金属製品）
- 「中国、オーストラリア向けのディーゼルエンジンが好調である」（輸送用機械器具）
- 「半導体関連中心に売上高は増えている」（一般機械器具）
- 「受注状況は好調」（建設業）
- 「高額品は健闘しており、景気が回復しているのではないか」（百貨店）
- 「台風のマイナス要因がありながらも、客が足を運んでくれた」（スーパー）
- 「BPO（業務委託）サービスの売上げが良く、また、新規の契約も出始めた」（情報サービス）

#### 【今後の見通し】

- 「当面好況が継続する」（食料品製造）
- 「印刷業界でもそれぞれが仕事を特化、専門化してきている。紙媒体への需要は簡単には消えない」（印刷業）
- 「受注は順調なので、それをこなせるよう製造・物流の改善や、人材育成などをしていきたい」（プラスチック製品）
- 「今後、景観材料やオリンピック関連の仕事が出てくる見込みである」（銑鉄鋳物）
- 「先行きはどちらともいえない」（金属製品）
- 「業界の景況が悪くなるのではなく、年度末に向けて顧客が生産調整に入るので受注が減る。例年の流れと変わりはない」（電気機械器具）
- 「今後も順調に推移するものと考えている」（輸送用機械器具）
- 「受注状況は当面維持できる見込み」（一般機械器具）
- 「良い方向に向かう」（建設業）
- 「若者はお金を持っておらず、百貨店が得意先とする高齢層は社会保障に不安を抱えている」（百貨店）
- 「安いものなら積極的に買ってもらえているので、今後も悪くはないだろう」（スーパー）
- 「テナントに入る小売店の伸びは横ばいである。新しい分野での取組が必要である」（商店街）
- 「現状から変わりはないだろう」（情報サービス）